

令和 6 年度行政監査「学校備品の管理事務について」

備品の管理状況と運用の現状に
関するアンケートの結果報告

令和 6 年 1 月
防府市監査委員

1 アンケートの実施方法

- (1) 実施時期 令和6年10月2日～令和6年10月25日
- (2) 調査内容 備品の管理状況と運用の現状を把握
- (3) 調査対象者 各小・中学校の学校備品の管理をされる担当者
- (4) 回答方法 無記名式
- (5) 回答数 学校事務員 28人
- うち
- | | |
|-------------|-----|
| 事務経験年数が1年未満 | 0人 |
| 1年以上3年未満 | 2人 |
| 3年以上5年未満 | 3人 |
| 5年以上10年未満 | 7人 |
| 10年以上 | 16人 |

2 アンケートの結果・・・・1頁～4頁

<記載内容の注意事項>

- ※ 比率は、小数点以下第1位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ※ 記述式による回答については、設問に直接関係のないものを削除したりしているため、各表に記載している人数と記述件数が合わない場合がある。

アンケートの結果

【引継ぎ体制(1)】 現在、あなたが標記の事務を担当した事務を引き継いだ際、前任者等から十分な引継ぎを受けましたか。		小学校		中学校		合計	
回答選択肢	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
① 十分に受けた	2人	12%	1人	9%	3人	11%	
② 概ね受けた	7人	41%	6人	55%	13人	46%	
③ あまり受けていない	2人	12%	1人	9%	3人	11%	
④ 全く受けていない	2人	12%	0人	0%	2人	7%	
⑤ 書面・マニュアルのみで引き継いだ	4人	24%	3人	27%	7人	25%	
⑥ その他(備考欄に内容を記載してください)	0人	0%	0人	0%	0人	0%	
計	17人	100%	11人	100%	28人	100%	

【引継ぎ体制(2)】 上の設問で、「③」「④」「⑤」と、回答した方に伺います。十分な引継ぎができなかった理由は何ですか。		小学校		中学校		合計	
回答選択肢	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
① 前任者とそれ違いで会えなかった	0人	0%	0人	0%	0人	0%	
② 自分や前任者の仕事が忙しく、まとまった時間が取れなかった	1人	13%	0人	0%	1人	7%	
③ 経験がある業務なので、引継ぎを受けなくても支障なかった	2人	25%	3人	50%	5人	36%	
④ 職場のマニュアルが充実しているので、引継ぎを受けなくても支障なかった	3人	38%	2人	33%	5人	36%	
⑤ 前任者(または経験者)がそばにいるので、特段の引継ぎは必要なかった	2人	25%	1人	17%	3人	21%	
⑥ その他(備考欄に内容を記載してください)	0人	0%	0人	0%	0人	0%	
計	8人	100%	6人	100%	14人	100%	

【備品台帳と現物との照合①】 直近で、備品台帳との照合はいつ行われましたか。		小学校		中学校		合計	
回答選択肢	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
① 令和6年度	11人	65%	6人	55%	17人	61%	
② 令和5年度	4人	24%	1人	9%	5人	18%	
③ 令和4年度	0人	0%	1人	9%	1人	4%	
④ 令和3年度以前	2人	12%	2人	18%	4人	14%	
⑤ 照合していない	0人	0%	1人	9%	1人	4%	
計	17人	100%	11人	100%	28人	100%	

【備品台帳と現物との照合②】 上の照合①の設問で、「①」「②」「③」「④」と、回答した方に伺います。照合した時期はいつですか。		小学校		中学校		合計	
回答選択肢	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
① 人事異動に合わせて	0人	0%	0人	0%	0人	0%	
② 夏季休業期間	15人	83%	9人	90%	24人	86%	
③ その他(備考欄に内容を記載してください)	3人	17%	1人	10%	4人	14%	
計	18人	100%	10人	100%	28人	100%	

③ その他(備考欄に内容を記載してください)							
・前任者が行っているので、どの時期に照合したかは不明である。							
・仕事の手が空いている時に行った。							
・小規模校で教職員数が少ないと業務改善のため、年度によって点検する教科等を決め、点検している。そのため、1回で全ての備品の照合ができるわけではない。							
・前任者が行っているので、どの時期に照合したかは不明である。							

【備品台帳と現物との照合③】 上の照合①の設問で、「①」「②」「③」「④」と、回答した方に伺います。照合に要した期間はどのくらいですか。		小学校		中学校		合計	
回答選択肢	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
① 1日	4人	24%	0人	0%	4人	15%	
② 1日超、1週間未満	5人	29%	1人	10%	6人	22%	
③ 1週間以上、1ヶ月未満	5人	29%	6人	60%	11人	41%	
④ その他(備考欄に内容を記載してください)	3人	18%	3人	30%	6人	22%	
計	17人	100%	10人	100%	27人	100%	

④ その他(備考欄に内容を記載してください)							
・前任者が行っているので、どのくらいの時間を照合に要したかは不明である。							
・夏季休業中に備品の整理、場所の特定、廃棄をした。その後、データベースの書き込みや変更が終わったのは9月末である。							
・夏季休業開始日から8月末日まで。							
・夏季休業期間中、主任を中心に各担当に任せている。							

アンケートの結果

【現物がない備品】 備品台帳に登録はあるが、現物がない備品はありますか。		小学校		中学校		合計	
回答選択肢	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
① ある	10人	59%	6人	55%	16人	57%	
② ない	7人	41%	5人	45%	12人	43%	
計	17人	100%	11人	100%	28人	100%	

【現物がない理由】 現物がない理由について(複数回答可)		小学校		中学校		合計	
回答選択肢	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
① 自校で処分したが、台帳の廃棄処理をしていない	5人	50%	3人	50%	8人	50%	
② 自校以外に譲渡したが、台帳の譲渡処理をしていない	0人	0%	0人	0%	0人	0%	
③ 自校以外に貸与している	0人	0%	1人	17%	1人	6%	
④ その他(備考欄に内容を記載してください)	5人	50%	2人	33%	7人	44%	
計	10人	100%	6人	100%	16人	100%	

④ その他(備考欄に内容を記載してください)

- ・古い備品で処理されていないものが多いように思う。特に引っ越しをした際に、廃棄していないものが多いのではないかと前任者から引き継ぎを受けた。
- ・備品の数が多く毎年すべての備品を台帳と照合することが難しいため、現物があるかないか分からぬものがある。
- ・夏季休業中に確認が終わっていない備品があるので④とした。
- ・不明。古い備品で該当の備品が見当たらない。また、これかなというものがあつても備品番号がなく判断できない。
- ・理由は不明だが、特に古い備品の所在がよく分からぬものもあるため、現在備品点検をし、現有がないものについては台帳上の廃棄処理をしているところである。
- ・一般備品、共通備品において備品台帳と現物の照合がされていなかったため。
- ・自校で処分したが、台帳の廃棄処理をしていないと思われる。
- ・備品番号が新しくなった際に古い番号のままになっていたと思われるものが多い。
- ・昭和時代に古い備品が台帳上あり、ここ数年以上照合をしていない状況。

【登録がない備品】 現物があるが、備品台帳に登録がない備品はありますか。		小学校		中学校		合計	
回答選択肢	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
① ある	12人	71%	10人	91%	22人	79%	
② ない	5人	29%	1人	9%	6人	21%	
計	17人	100%	11人	100%	28人	100%	

【登録がない理由】 登録がない理由について(複数回答可)

【登録がない理由】 登録がない理由について(複数回答可)		小学校		中学校		合計	
回答選択肢	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
① 教育委員会が購入したが、台帳に記入していない	2人	15%	3人	30%	5人	22%	
② PTAなどから寄附されたが、台帳に記入していない	7人	54%	4人	40%	11人	48%	
③ 自校以外から借用している	0人	0%	0人	0%	0人	0%	
④ その他(備考欄に内容を記載してください)	4人	31%	3人	30%	7人	30%	
計	13人	100%	10人	100%	23人	100%	

④ その他(備考欄に内容を記載してください)

- ・どの会計で購入したか不明備品があるため④とした。
- ・不明。
- ・購入時期、金額、執行された予算がわからぬため。
- ・離島のためすぐに処分できない。
- ・私物を置いて出て行つたであろうものが多い。
- ・生徒会費で購入したが、台帳に記入していない。

【学校配分予算による備品の見積合わせ①-1】 5万円以上の備品を購入する場合、取扱い業者の選定は、どのようにしていますか。						
回答選択肢		小学校		中学校		合計
回答選択肢	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
① すべて学校で取扱い業者を選定している	14人	82%	8人	73%	22人	79%
② すべて教育総務課または学校教育課で取扱い業者を選定している	3人	18%	1人	9%	4人	14%
③ 一定金額まで学校で取扱い業者を選定している	0人	0%	2人	18%	2人	7%
計	17人	100%	11人	100%	28人	100%

アンケートの結果

【学校配分予算による備品の見積合わせ①-2】 上の設問で、「③」と、回答した方に伺います。一定金額とはいくらですか。		小学校		中学校		合計	
回答選択肢	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
①10万円まで	0人	0%	0人	0%	0人	0%	
②30万円まで	0人	0%	0人	0%	0人	0%	
③50万円まで	0人	0%	1人	50%	1人	50%	
④その他(備考欄に内容を記載してください)	0人	0%	1人	50%	1人	50%	
計	0人	0%	2人	100%	2人	100%	

④その他(備考欄に内容を記載してください)						
・80万円以上は市の入札と伺っている。						

【学校配分予算による備品の見積合わせ②-1】 5万円以上の備品を購入する場合、取扱い業者へ見積依頼は、どのようにしていますか。		小学校		中学校		合計	
回答選択肢	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
①すべて学校から取扱い業者へ見積を依頼している	17人	100%	9人	82%	26人	93%	
②すべて教育総務課または学校教育課から取扱い業者へ見積を依頼している	0人	0%	0人	0%	0人	0%	
③一定金額まで学校から取扱い業者へ見積を依頼している	0人	0%	2人	18%	2人	7%	
計	17人	100%	11人	100%	28人	100%	

【学校配分予算による備品の見積合わせ②-2】 上の設問で、「③」と、回答した方に伺います。一定金額とはいくらですか。		小学校		中学校		合計	
回答選択肢	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
①10万円まで	0人	0%	0人	0%	0人	0%	
②30万円まで	0人	0%	0人	0%	0人	0%	
③50万円まで	0人	0%	1人	50%	1人	50%	
④その他(備考欄に内容を記載してください)	0人	0%	1人	50%	1人	50%	
計	0人	0%	2人	100%	2人	100%	

④その他(備考欄に内容を記載してください)						
・80万円以上は市の入札と伺っている。						

アンケートの結果

【事務に関する意見】事務を適正に進めていく観点から、あなたが普段感じていること(困っていること、疑問に思うこと、改善提案など)

- ・半日ほどの引継ぎの中で特に経験年数が浅いと他の業務の引継ぎもたくさんあるので、備品について時間をとることは難しい。昨年、今年の夏季休業中に教材備品の備品点検を職員全員で行ったが、何年も前に購入してある備品は廃棄処理されずにそのまま廃棄されてあるものが多く、今いる事務職員がすべての廃棄処理をしないといけなかったので時間もとられ、とても大変だった。管理備品(机や椅子)は数も多く他の業務もたくさんある中、すべてを現物と台帳を照合するのは難しい。
- ・物価上昇に合わせて1万円以上という備品定義を変更してほしいと思うことがある。現在市費の手引きでは掛図、CD、DVD、パソコンソフトは定価に関わらず備品と記載されているが、この内容は財務規則にはないので削除してほしい。平成30年にも提案している。
- ・児童用机、椅子などは台数のみの把握で備品番号まではつけていない。他の市町では市会計処理は備品を含め電算化されている。防府市も学校で処理できるよう導入を希望する。
- ・市会計の電算システムを導入していただき、購入した備品を決済処理するとそのまま備品台帳へ入力できる流れができると入力漏れもなく教育委員会とも共有できる。教育委員会が購入していただいた児童机や児童椅子等も教育委員会が購入した時点で学校の台帳に入力完了できるとお互いに業務改善ができる。近隣の市町で導入されているようなので防府市でも検討していただきたい。
- ・この度の熱中症対策備品など、教育委員会で購入したものも台帳に記入した方が、学校にある総数が把握できて良い。
- ・備品分類番号において、時代に即さないもの(例、ビデオデッキ、テープレコーダーなど)や新たに登場したもの(ICT機器類)など、分類の表記や物品の統合化によって、分類をスリム化しても良いのではと感じる。庁内各課にあらゆる備品が存在していると思われるが、簡単にはスリム化とはいかないと感じるが、この度新庁舎移転により廃棄物や新たに導入した備品も多いと思われるが、庁舎移転を機に備品分類の見直しに着手されても良いのではと思う。
- ・備品は1万円以上→3万円以上または5万円以上に変更してほしい。重要物品ではない備品のうち、安い備品(例えば5万円未満)は購入後、20年経過したら廃棄できるようになればよい。減価償却を考えると価値は0円なので。
- ・本校でも、教材室の整理や備品点検を主に夏季休業中に教職員で行っている。備品点検については教職員の人数に対して点検する備品が多いこと、最近は気温も高く、職員作業が長い時間続けられないこと、そもそも備品台帳と現有に差異があること、等により、点検するのに教職員の多大な労力がかかっている。備品として扱う金額について、もう少し金額を上げて、予算配当の見直しを行うか、難しければ、備品台帳に登録する備品の金額を上げる等、何か解決策を講じる必要がある。
- ・旧備品番号や新備品番号が理解・整理されていないまま切り替わっていたりする。そのため、同一番号の物品が2個以上存在したり・分類が見当違いなところに振り分けられている。また、各分類も学校の実態にそぐわないと分類しづらい事態も時折発生する。
- ・毎年、市で購入して頂く生徒用机、椅子の取扱について指示を頂きたい。分類のできない備品も新しく出て来ているので、備品番号の新規付与など対応をお願いしたい。
- ・教材備品の取扱いは特殊で、業者が限定されるため、見積依頼をしても1社からしか出てこないことが多い。その場合、辞退届が出るとわかっていても、債権債務者登録一覧に載っている取扱い業者すべてに見積もり依頼をしないといけないのは手間がかかりすぎる。
- ・教材、楽器等の見積もり依頼は、取り扱う業者が限られているため、見積もり依頼業者の決定が難しい。視聴覚機器等電器関係の備品については、学校が選ぶ三者が果たして一番安く購入できる業者なのかよくわからない。
- ・転勤時(令和5年4月)に備品のデータ化が行われていない状況だった。昨年と今年度でデータ入力を終えたので、今年度、現物との照合をし廃棄を進めていく予定。備品の見積合わせで、特に教材備品の業者選定が難しい。市の「物品登録業者名簿」により見積依頼(通常3業者以上)をしているが、備品によっては辞退をする業者がほとんどである。該当業者すべてに見積依頼をして、1業者しか返事がなかった場合は、問題ないとのことだが(すべてとなると18業者ある)、特定の業者しか取り扱いのない備品についての見積依頼の見直しはできないものだろうか。
- ・5万円以上の見積合わせの際、3社どこの業者に依頼をしたら良いか悩むことがある。